

▶ 「悟空〜目録の幕開け〜」映像上映+パフォーマンス

2022.03.08

台湾発・アジアを代表する現代サーカスカンパニーがスクリーンで大あはれ！

現代サーカス界で「アジアの星」と称されるフォルモサ・サーカス・アートの人気作『悟空〜目録の幕開け〜』。

『西遊記』に登場するおなじみ“孫悟空”が、石から生まれ三蔵法師に出会うまでの物語を、アクロバットやエアリアル（空中芸）などのサーカステクニックと台湾の伝統音楽を交えて大胆に表現した本作品を、なみきホールの大スクリーンで映像上映しました。

新型コロナウイルス感染拡大を受け2020年の公演が中止となり、2021年もカンパニーの台湾からの来日が困難となってしまいましたが、今回のために特別編集された『悟空』のパフォーマンス映像を、東京、名古屋、福岡の3会場で上映。



さらに、日本の現代サーカス界を代表するアーティストが『悟空〜目録の幕開け〜』よりインスパイアされた新作をお届け。

吉田亜希、油布直輝、安岡あこの3人が、『悟空』にも登場する人気のサーカステクニック「エアリアル」と「シル・ホイール」、さらにダンスを組み合わせた生パフォーマンスを舞台上で披露しました。



関連企画 やってみよう！サーカスワークショップ

出演アーティストそれぞれの分野で、エアリアル・シルホイール・ダンスのワークショップを開催し、3回のワークショップで小学生〜大人まで幅広い年代の皆さまにご参加いただきました。

サーカステクニックの難しさに触れ、さらにパフォーマンスに興味を持たれた方、他のパフォーマンスにも挑戦してみたいという参加者もいっしょに、アーティストとの交流によって、文化芸術に対する好奇心を育むきっかけをつくることができました。



▶ 『悟空〜目録の幕開け〜』映像上映+パフォーマンス 福岡公演特設サイト

開催日時	■「悟空〜目録の幕開け〜」映像上映+パフォーマンス 2021年8月7日（土）15:00開演（開場14:15） 2021年8月8日（日）13:00開演（開場12:15） ■やってみよう！サーカスワークショップ 2021年8月4日（水）14:00～15:30 ダンス 2021年8月5日（木）17:30～19:30 シルホイール 2021年8月6日（金）10:30～12:00 エアリアル
会場	東市民センター なみきホール ※ワークショップの一部は、パピオピールーム大練習室
主催等	主催：福岡市、（公財）福岡市文化芸術振興財団 後援：福岡市教育委員会 協力：西日本台湾学友会 制作協力：世田谷パブリックシアター、（公財）名古屋市文化振興事業団【中川文化小劇場】 助成：（一社）全国モーターボート競走施行者協議会、（一財）地域創造、国立伝統芸術センター